

成績評価の客観的な指標を設定

本校では、成績評価の指標としてGPAを採用している。

学業成績を授業科目ごとに定期試験、実技試験、提出課題等の状況により100点満点の範囲内で評価される。

当校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～85を優、84～70を良、69～60を可として、成績が通知される。各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1授業あたりの平均成績を算出する。各成績を優(3点)、良(2点)、可(1点)のGPに置き換え、GPAを(Aの単位数×3+Bの単位数×2+Cの単位数×1)の合計を、各生徒が履修済みの総単位数で除した数をとして求めることによって算出する。

評価点	評価	GP	評価基準
100～85	優	3	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている
84～70	良	2	到達目標を達成している
69～60	可	1	到達目標を最低限達成している
59以下	不可	0	到達目標を達成していない

GPAの算定式は、以下のとおりである。

$GPA = (\text{優の総単位数} \times 3 + \text{良の総単位数} \times 2 + \text{可の総単位数} \times 1 + \text{不可の総単位数} \times 0) / \text{GPA 対象科目の総履修登録単位数}$

本校では、進級判定・卒業認定を修得単位によって行っています。

単位換算は学則第9条で

工業専門課程は、

講義演習にあっては 15 時限から 20 時限をもって 1 単位

実験・実験にあっては 20 時限から 36 時限をもって 1 単位

医療専門課程

講義演習にあっては 15 時限から 30 時限をもって 1 単位

実験・実験にあっては 30 時限から 45 時限をもって 1 単位

社会福祉専門課程

講義にあっては 15 時限をもって 1 単位

演習にあっては 30 時限をもって 1 単位

実験にあっては 45 時限をもって 1 単位

卒業認定は以下の基準となっている。

放送映像学科

進級：1年次の必修科目を含む 50 単位以上を取得

卒業：1・2年次の必修科目を含む 100 単位以上を取得

TVディレクター学科

進級認定基準：1年次の修得単位数の合計が原則 50 単位以上。

卒業認定基準：修得単位数の合計が 134 単位中、100 単位以上。

クロスメディア情報学科・電気電子学科

進級認定基準：1年次の必修科目を含む 48 単位以上を取得

卒業認定基準：1・2年次の必修科目を含む 96 単位以上を取得

建築学科 建築科

進級認定基準：1年次の必修科目を含む 40 単位以上を取得

卒業認定基準：1・2年次の必修科目を含む 84 単位以上を取得

臨床工学科

進級認定基準：各学年の必修科目を全て取得

卒業認定基準：必修科目 98 単位を全て取得

臨床工学専攻科

進級認定基準：各学年の必修科目を全て取得

卒業認定基準：必修科目 98 単位を全て取得

介護福祉学科

進級認定基準：1年次の必修科目をすべて修得

卒業認定基準：必修科目すべてを含む 93 単位を修得

以上